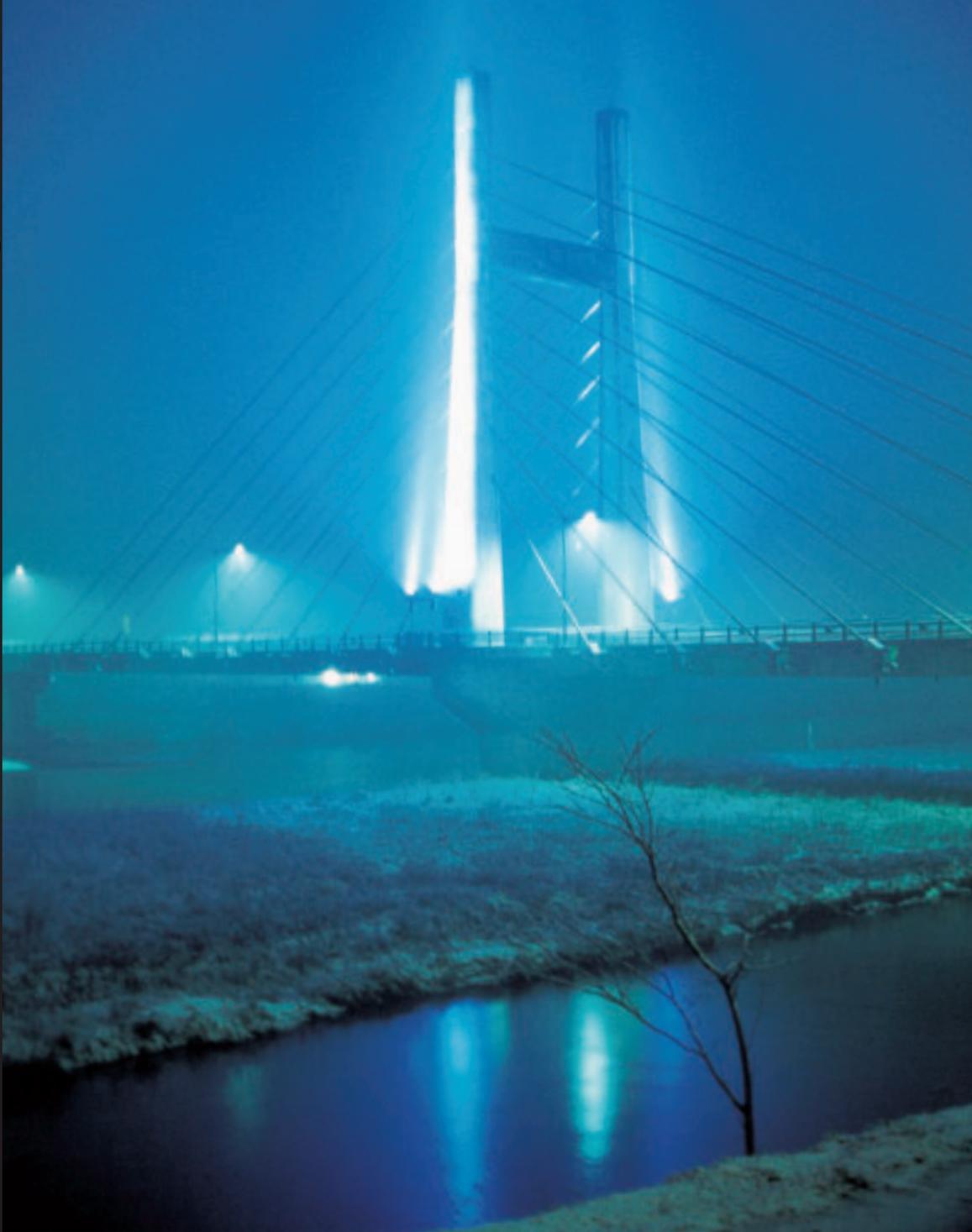


ふるさとの

歳時記

「冬の木次大橋」

■撮影
橋本 博さん(木次町里方)



季節ごよみ



白鳥のいる風景

本格的な冬の訪れを告げる冬の使者白鳥が、斐伊川にも飛来しています。

この優雅に泳ぐコハクチョウたちは、3月下旬頃まで越冬した後、北国へ帰っていきます。

編集後記

新年明けましておめでとございませう。今年もみなさんともじつくり見やすく読みやすい広報づくりに励んでいきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、雲南市の新たな取り組み「ふるさと通貨」事業が12月からスタートしました。この事業は、住民基本台帳カード(住基カード)を利用し、ポイントのやり取りをするもの。今回の実験期間は1月までですが、期間中ポイントを使って入浴したり、温泉施設で特産品を購入したりできます。

また、現金で入浴された時や市の主催する協賛イベント等へ参加された場合は、ポイントを選元し、貯めることもできます。住基カードを利用した地域通貨は、全国的にも新しい試みであるため、様々な課題なども想定されますが、平成18年度以降の本格運用に向け、しっかりと準備していく予定です。将来的にはボランティア活動でのポイント還元(お金で評価できないものをポイントで支払)や利用施設拡充(地域内経済の活性化を図るため)等の検討とともに電子自治体の推進(住基カードの普及)も図っていきます。

・**5M3A** に対するご意見、ご感想はこちらまで!

政策企画部 情報政策課
unnan-city@city.unnan.shimane.jp